

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第三中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。 (※夏季休業期間の変更に伴う教育課程編成の工夫を含む)	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒評価はAで、91.1%の生徒が肯定的意見である。目標を持って学校生活を送っている生徒が多い。 保護者の評価も90.4%が肯定的意見である。期待を裏切らないよう、より組織的、計画的に教育活動を実施する。 学校教育目標達成に向けた取組を広く公表するとともに、生徒一人一人が輝き、感動と笑顔あふれる学校を実現する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者の肯定的意見を重視。 生徒の評価が上がったことは良い。 学校教育目標達成に向けて生徒自身が感じている。 組織的に取り組んでいると思われる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員評価の肯定的意見がH30より、12.3ポイント上昇した。教職員の危機管理体制や安全・安心な学校づくりの取組に対する意識も向上し、生徒は安心して学校生活を過ごしている。PTA美化活動では、教職員、保護者だけでなく地域の力を借りて、学校の環境整備を実施した。 みつばちメールへの登録者が91.9%まで向上した。昨年度より4%上昇した。 子供達が安心して通える学校づくりを進めるために、学校、家庭、地域が連携した取組を一層推進していく必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の肯定的意見が上昇したのが素晴らしい。生徒が安心して授業が受けられることがありがたい。 職員評価が上がるとことは生徒が安心して学校生活に取り組めるので良い。 災害時のマニュアル、いじめ防止マニュアルがあり、体制は整っている。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の肯定的意見は、90.7%、保護者は81.5%であった。 県学力学習状況調査では、全学年、全教科で県平均を上回ることができた。 引き続き基礎学力を定着させ、「自分の考えを持つ」「表現し交流する」「活用する」学習を積極的に推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の評価は肯定的な意見が90%以上あり、学力テストにおいても証明されている。 保護者が肯定的に判断していないことがうかがわれる。 県平均を上回ることができたのは、先生方の指導の賜物、それに応えることができた結果である。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の肯定的意見は昨年度と変わらず91%、保護者は77.2%であった。 全教師で「授業の5か条」に基づいた授業改善を実施したことが肯定的意見の向上につながっている。 道徳の教科化を受けて、道徳担当推進教師が講師となって研修を実施、各学年道徳担当による師範授業、研究協議など先を見通した授業改善を実施している。 校内研修では、本校の生徒の実態に基づいた学校課題を設定し、より充実させることで、更なる授業改善を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と先生方が和気あいあいと授業をしていた。 学力が向上して、全国でも上位にいると聞いている。 授業に活気があり、楽しく分かりやすい授業を目指す先生方の努力が感じ取れた。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は84.6%、保護者は90.2%が肯定的意見を回答しており、生徒の肯定感H30より向上している。 生徒は規律ある態度を身に付け、非常に落ち着いて生活ができています。 教職員は、より高いレベルで、三中の掲げる「自主自立の態度」の育成を進めている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな場面において、けじめある態度で臨む姿にいつも感心する。 全教師の授業の5か条により、向上につながっている。 どの授業を見学しても乱れている様子が見受けられなかった。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員、保護者、生徒評価とも肯定的意見がH30より上昇している。 毎週教育相談部会、生徒指導部会を開き各学年の情報交換と指導方針、指導方法について確認し、情報の共有化を図った。 朝の活動を大切に、生徒が自分たちで静かに読書を始められる、朝読書指導を行った結果、落ち着いた生活を送れるようになった。 授業規律”三中スタンダード”を確認し、共通理解のもと共通指導を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 共通理解、共通指導をされているとのこと、安心します。 三中の掲げる自主自立の体制が素晴らしい。 生徒が互いに注意したり、自然と静かになったり、信頼関係の中で学校生活が送れている。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 職員、保護者、生徒がA評価。体育の授業や部活動、休休みの校庭、体育館開放等、多くの活動場面を利用して効果的に運動量を確保することができた。 体育授業で、準備運動時の工夫や体づく運動の確保、課題発見能力の育成等を通して意欲的に運動に取り組むことができるような生徒を育成している。 体育館の部活では、場所と時間の確保が課題である。健康、安全に配慮しつつ、効果的、効率的な指導法の工夫改善を進める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の評価を反映しました。 食育を通して体力向上に努めている。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 体育科を中心に体力向上策を立て、新体力テスト等への意欲的な取組を進め、計画的に取り組んでいる。 部活動指導では、各部の課題を共通認識した上で、部活ごとに工夫した練習に取り組み、成果を残している。 体力向上コーナーやランキングの掲示等を活用し、生徒の頑張りを示すことで、生徒の意欲を向上させて課題解決に取り組む。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 明るく伸び伸びと活動している。 生徒はメニューを組み立てて授業に取り入れている。 長距離走のランキングを掲示したり、部活動やその他活躍しているのを見ると、成果を上げている。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者ともに肯定的意見は、昨年同様であった。 学校行事の際、PTAを中心に取組への協力をいただいている。地域団体も含めた活動も実施することができている。 PTA主催の行事も、負担にならないように改善を図っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域の連携としては、彩夏祭への参加やふれあい推進事業などで地域とのつながりを大事にしてほしい。 先生にまかせっきりになっているのではないかと。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 通学路安全点検や環境美化活動を保護者(PTA本部)と協力して実施した。今後も状況に応じて安全指導・健全育成を推進する。 PTAや地域の方々が積極的に参加できる取組を工夫し、学校・家庭・地域が連携して安心・安全な学校づくりを一層推進していく。 メール配信や学校ホームページ等、学校からの情報発信を丁寧に行い、より一層の協力体制の構築をおこなっていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と地域は、生徒の安全と健全育成のために色々考えていると思います。 中学生のうちに薬物について正しい知識を持ち、絶対に手を出してはいけないと教えてほしい。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満